

笠松ナビ 散策コース



笠松町のこのあたりを巡ります

川並奉行と寺社

3

時間

50分

距離

3.8km

かつて尾張藩は円城寺に川並奉行を置き、木曽川を通る船や積荷を取り締まりました。奉行館跡や御番所跡、奉行の墓などが川並奉行のおもかげを偲ばせます。また、円城寺には「芭蕉踊り」が伝わっています。芭蕉踊りは、江戸時代から行われている雨乞い踊りで、岐阜県重要無形民俗文化財にも指定されています。

このコースでは、川並奉行ゆかりの地と、芭蕉踊り発祥の地である富士神社や、現在、芭蕉踊りが行われている秋葉神社など芭蕉踊りゆかりの寺社を巡ります。





川並奉行と寺社

2 芭蕉踊りゆかりの地 -おふじの宮-

「東西しづまれ唄おろそ」

と唄われる円城寺の雨乞い踊り(芭蕉踊り)の場であったのが、おふじの宮(円城寺 富士神社)でした。村人が日曜で苦しんでいたとき、おふじさんの「長森の手力様に雨乞いをすれば、ちゃんと雨がもらえる」という言葉通りに雨乞いをしたところ雨が降り出したという言い伝えが残っています。



4 円城寺の芭蕉踊り

円城寺に伝わる芭蕉踊りは、雨乞い踊りのひとつで江戸時代から行われています。2人1組の踊りで、1人は竹に紙をつけて芭蕉の葉にみたてたものを背負って腹に太鼓をつけ、もう1人はすり鉢を持ち唄に合わせて踊ります。

「ヤラー東西しづまれ唄おろそ、あまりの日照りがかなしさに…」

特に日曜のひどい時は、岐阜市の手力雄神社まで踊りながらお祈りに行きました。平成元年(1989年)に岐阜県重要無形民俗文化財の指定を受け、現在では、保存会が中心となって後世へ伝承しています。また、毎年8月22日に秋葉神社で踊られています。



6 専養寺のイチョウ

寺の境内に高くそびえるイチョウは、明治20年(1887年)に汽車が走り、鉄橋ができる様子を見下ろしていた記念の保護樹です。イチョウの木は、燃えにくく防火にも役立っています。



お立ち寄り
ポイント
stop-point

コースから少し足をのばして散策♪



称名寺の芭蕉句碑

貞享2年(1685年)の3月中山道からかぜの草庵をたずねた松尾芭蕉は次の句を残しています。

「永き日を囁いたらぬ雲雀かな」

この寺の法要には、門の前にも店が並び大変にぎわったようです。

笠松町には松尾芭蕉の蕉門十哲の一人、各務支考が開いた美濃派の流れをくむ弟子が大勢住んでいたことから句碑が称名寺をはじめとする寺院等に多数残っています。



木曽川円城寺川並奉行館跡

木曽川は当時尾張領で、対岸の北方(一宮市)と円城寺に川並奉行を置き、川を上り下りする舟や荷物を取り締まっていました。



machi-no-eki

思いがけない出会いがあるかも!

9 買い物カゴの駅 [(株) スーパーメイト]

20 鮎の駅 [木曽川長良川下流漁業協同組合]

33 マリア観音の駅 [専養寺]

44 たわむれカフェの駅 [カフェアジャーラー]

49 オグリキャップの駅 [笠松競馬場]

みんなの
交流の場
立ち寄ってね!



笠松ナビ アプリをダウンロードしてもっと楽しみましょう♪

【問い合わせ先】笠松町歴史未来館

住所:岐阜県羽島郡笠松町下本町87番地 TEL:058-388-0161
笠松ナビホームページ: <http://geoalpha.jp/kasamatsunavi>

笠松ナビ



[iPhone]



[Android]